



◆地区音楽祭・心を一つに◆

8月20日（水）に矢吹町文化センターで石川地区小中学校音楽祭が開催されました。夏休み前より、全学年から部員を集め、練習に励んできました。

佐藤先生の指導のもと、部長の遠藤聡美さん、副部長の秋田優花さんを中心に心をひとつにして練習してきました。また、伴奏の和泉 萌さん、館 夏美さんも音楽室で毎日猛特訓を行っていました。コンクールでは、生徒一人ひとりが心を一つにして美しいハーモニーを披露してくれました。1つのものを創り上げることの難しさや素晴らしさを体験することができたようです。

- 課題曲：「桜の季節」  
 伴奏 和泉 萌
- 自由曲：「人間」  
 伴奏 館 夏美  
**銅賞受賞**



【部長：遠藤聡美】

地区音楽祭の結果は銅賞だった。正直言うと、すごく悔しかった。私は部長としてあまり部をまとめられなかった。練習の時はあまりメンバーが揃わず、きちんとできなかつたけど、すごく上達したと思う。今度は学校祭で合唱コンクールがあるので、この経験を生かして一生懸命頑張りたい。

【副部長：秋田優花】

私にとって最後の音楽祭でした。みんな、なかなか揃わない中、心を一つにして歌えたと思いました。今までの中で、一番良かったと思います。楽しく歌えたので良かったです。

【伴奏：和泉 萌】

本番前、ステージ裏では、緊張のあまり手が冷えてしまって大変でした。課題曲の伴奏を担当しました。少しミスタッチがありましたが、よく弾けたと思います。

毎年、この時期に矢吹町に行っていますが、何回行っても学ぶことがたくさん



あります。今回合唱で学んだことを今後に生かしていきたいと思います。支えてくださった方々、本当にありがとうございました。

【伴奏：館 夏美】

中学校で最後の合唱コンクールが8月20日にありました。「桜の季節」は、いつも以上に全力で心を込めて歌うことができました。「人間」の方も、伴奏が上手く弾くことができ、とてもほっとしました。結果は銅賞と残念な結果に終わってしまいましたが、みんな全力で気持ちよく歌うことができたと言っていたので良かったと思います。



◆緊張との戦い・英語弁論大会◆

特設部第2弾。8月28日（木）に、石川町共同福祉施設で地区英語弁論大会が開催されました。学校代表として3名、暗唱の部に二瓶佑介くん、大和田真央さん、創作の部に遠藤英晴くんが出場しました。

3人は、部活、合唱と活動が忙しい中の練習ではありましたが、本番では堂々と自分らしさを大いに表現することができました。人前で話すことは、今後の生活で大いに生かされることと思います。とてもいい経験ができたことと思います。ご苦労様でした。

- 暗唱の部**
- ◆二瓶 佑介  
「Limelight」
- ◆大和田真央  
「Can Anyone Hear Me?」
- 創作の部**
- ◆遠藤 英晴  
「What happened to me?」



【暗唱の部：二瓶佑介くん】

昨年は暗唱の部で4位でした。今年は自分の発表が始まる前に、自分でも驚くほど緊張していて、イスが心臓の鼓動で揺れているのかと思いました。結果は、緊張のあまり、本番で内容が吹っ飛んでしまいました。その後は何とか自分を安定させて発表を終えることができました。学校祭ではパーフェクトなスピーチにしたいです。

【創作の部：遠藤英晴くん】

今回の英語弁論大会はとても悔いの残る結果となりました。本番になると緊張して少し早口になってしまいました。この失敗を生かして今後の学校生活を頑張っていこうと思います。また、これからは気持ちを切り替えて受験勉強に励もうと思います。応援ありがとうございました。



